与論町健康長寿課保健センターの皆さん（筆者前列中央）

保健師ルポ

産科医がいない町で安心して出産・子育てができる支援に取り組む

与論町　健康長寿課　保健センター　保健師　町田　夢奈

サンゴ礁に囲まれた自然豊かな与論町

与論町は、鹿児島県の最南端に位置し、鹿児島から南へ約563㎞の洋上に浮かぶ、一島一町の町です。本町は総面積20・49㎢、周囲23・65㎞のサンゴ礁が隆起してできた小さな島です。年平均気温は、23・0℃と暖かく、白い砂浜と透き通ったエメラルドグリーンの海、ハイビスカスやブーゲンビリアなどの熱帯の花々、夜には満天の星空が広がる、美しく自然豊かな島です。干潮時にのみ現れる「百合ヶ浜」は神秘的で美しく、島の観光名所となっています。

与論町は、人口5016人（令和5年4月1日現在）、牛の頭数は5730頭と人より牛が多い畜産の島で、温暖な気候を生かした農業、豊富な水産資源に恵まれた漁業、豊かな自然を生かした観光業も盛んに営まれています。

百合ヶ浜

「共に作ろう　未来への架け橋　～元気・チャレンジ・感動～」をまちの基本理念とし、さらに、まちの将来像「南の島の豊かな心と自然が創る活力と希望のあるまち」の実現を目指して、保健・医療・福祉、教育・文化、産業、生活基盤、共生・協働、行財政の充実が図られているところです。

また、「恵み豊かな自然の中ですべての子どもと親を地域が育てるまち　よろん」を基本理念として、地域で安心して子どもを産み育てることができる環境の整備を目指し、島外出産支援特別対策（安心クワーナシ支援）事業や与論町子育て支援金制度を創設するなど、子ども・子育て支援事業を推進しています。

産科医がいない町

与論町には、産科医が駐在しておらず、出産できる医療機関がありません。そのため、妊婦健診は月に2回島外から産婦人科医が来島する際に行い、出産の際には島外へ移動する必要があります。妊婦さんは妊娠34週頃になると近隣の沖縄県や鹿児島本土へ移動し、1ヶ月ほど島外で待機したのちに出産を迎えます。このように産科医療機関がないこの島での妊娠には大きな不安が伴います。それでも、「生まれ育った

与論島で子育てをしたい」という地元の方や、「与論が好きで引っ越してきました。自然いっぱいのなかでのびのびと子育てがしたい」というIターン者の方が多くいます。このような方々が与論町で安心して妊娠から出産・子育てができるように、私たちはひとりひとりに寄り添う支援を心掛けています

5才児歯科健診の様子

安心して出産を迎えられるように

与論町には産科医療機関がないため、出産を迎えるために島外へ移動、宿泊施設に1か月間宿泊するのには多大な費用を要します。その費用を負担し、金銭面における不安を少しでも軽減しようと町では「島外出産支援特別対策（安心クワーナシ支援）事業」を行っています。「安心クワーナシ」とは与論の方言で「安心した出産」という意味です。県と町が共同で行っている島外出産支援事業とこの安心クワーナシ支援事業により、出産場所までの移動費と宿泊費のほとんどを補うことができています。妊婦さんには大事な妊娠期に少しでも不安をなくして過ごしてほしいという思いが込められた事業です。

妊娠から出産・子育てまで切れ目のない支援を

私たちが初めてご両親にお会いするのは母子手帳発行時です。このときから私たちの支援は始まります。島外の宿泊施設を一緒に探したり、定期的な電話連絡で様子を伺ったりします。どんなに小さなことでも、わからないことがあれば聞いてみようと思える身近な存在を目指しています。そして、出産予定日を過ぎたころ、母親へ連絡し、子どもの誕生を一緒に喜び、子育ての不安がないか確認します。出産後は、新生児訪問や赤ちゃん講座、乳幼児健診等で親子にお会いします。新型コロナウイルスの影響でしばらく中止が続いていた赤ちゃん講座も、少しずつ再開を始め、「他のお母さんたちと仲良くなれる機会になってよかった」「楽しみながら子どもとの触れ合い方がわかった」など、学びの場であるだけでなく、親子が出かける機会、人と触れ合う機会になっています。特に、Iターンで与論島に移住してきた方たちにとっては、友達作りの場としても機能しています。私たちだけでなく、母親同士が知り合うことで、困った時に相談できる相手を島内で増やしていく大切な機会になっています。これまで新型コロナウイルスの影響で中止していた母親学級や親子教室なども今後再開して、親子がいろんな人と触れ合う機会を増やしていきたいです。

子育てしたい町づくりを

与論町の年間の出生数は30人ほどです。そのため、親子とは「顔がわかる関係」ができます。「先日お会いした時よりさらに大きくなりました」「こんなことができるようになりました」など、保護者と一緒に子どもの成長を喜び、見守ることができるこの母子保健の仕事にとてもやりがいを感じています。いつか子どもたちが成長し、大きくなってから「またこの島に帰ってきたい」「この島で私も子育てをしたい」と思ってもらえるような町づくりにこれからも力を注いでいきたいと思います。

エメラルドグリーンの海が輝く与論町へ

新型コロナウイルスによる行動自粛も緩和され、平穏な日々が戻りつつあります。エメラルドグリーンの美しい海と幻の島「百合ヶ浜」をみて心癒されるゆっくりとした時間を過ごしませんか。町では、ヨロンマラソンやサンゴ祭りなど様々なイベントも開催しています。ぜひ、与論町へお越しください。そして、私たちと一緒に働きませんか?笑顔あふれる温かな町民もみなさまをお待ちしています。

エメラルドグリーンに輝く海

夕焼けに染まる海